

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—174532

⑬ Int. Cl.³
C 22 B 11/04

識別記号

庁内整理番号
7128—4K

⑭ 公開 昭和58年(1983)10月13日

発明の数 2
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ パラジウム又はパラジウムに配合されている
貴金属の回収方法

平塚市長瀬 2 番地14号田中貴金
属工業株式会社平塚第二工場内

⑯ 出 願 人 田中貴金属工業株式会社
東京都中央区日本橋茅場町 2 丁
目 6 番 6 号

⑰ 特 願 昭57—56462

⑱ 出 願 昭57(1982)4月5日

⑲ 発 明 者 高山新吾

明 細 書

1. 発明の名称

パラジウム又はパラジウムに配合されている
貴金属の回収方法

2. 特許請求の範囲

(1) パラジウム又はパラジウム合金を被覆した
材料を水溶性のよう薬溶液とよう化物水溶液
とを含む混合溶液中に浸漬して被覆されたパ
ラジウム又はパラジウム合金を溶解した後、
この溶解溶液に還元剤を添加してパラジウム
を沈殿させることを特徴とするパラジウム又
はパラジウムに配合されている貴金属の回収
方法。

(2) 特許請求の範囲第 1 項記載の回収方法にお
いて、混合溶液が沈殿後の溶解溶液に酸化剤
を添加して再生されていることを特徴とする
パラジウム又はパラジウムに配合されている
貴金属の回収方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明はパラジウム又はパラジウム合金を被覆

した材料からパラジウム又はパラジウムに配合さ
れている貴金属を回収する方法に関するものであ
る。

従来、パラジウムの溶解方法としては、強酸や
シアン化アルカリ溶液で溶解することが知られて
いた。しかしながら、従来法は、パラジウムやパ
ラジウム合金がメッキ、クラッド、焼付け等によ
り銅合金等の金属、ブリンド基板、セラミックス
などの材料に被覆されている場合には適当でない。
たとえば、硝酸や王水などの強酸でこの材料を溶
解しようとする、腐食性が高いため台材金属ま
で溶解してしまい NOx ガスを発生させたり、パ
ラジウムを回収する際に妨害因子として働き著し
く回収効率を低下させたりする。また、シアン化
アルカリ溶液で溶解した場合には、同様に台材金
属まで溶解することがあり還元が困難で、かつ、
使用済みシアン化アルカリ溶液の廃水処理費用が
高価で経済的でない。

本発明は上記欠点に鑑みなされたもので、パラ
ジウム又はパラジウム合金のみを溶解し還元する

特開昭58-174532(3)

ム又はパラジウム合金を溶解することができる効果があり、また再生すればくり返し使用できるなどの効果がある。なお、必要に応じて本発明の反応を阻害しない範囲で緩衝剤等添加しても良い。

出願人 田中貴金属工業株式会社